

みんなで 考えよう 敬老パス

11月号
特集

に寄せられた ご意見の紹介

11月号では、敬老パス（敬老優待乗車証）の現状と課題を紹介した上で、市民の皆さんに今後の敬老パスのあり方についてご意見を募集しました。11月号には、それまで頂いていた幅広い市民意見を掲載したこともあり、それらに賛成する声のほか、たくさんのご意見が寄せられました。今月はその中の一部を紹介します。



寄せられたご意見の総数

625件	郵便	412件(広報クイズの意見含む)
	ファクス	55件
	Eメール	33件
	インターネット	80件
	電話	39件
	来訪	6件

現状維持

60件

●札幌は、お年寄りに優しいまちであってほしい。この世代の皆さんは、幸せな時代を築いてくれた方々です。だから、お年寄りに感謝の気持ちを込めて今後も制度を続けてほしいと思います。

清田区・四十代 女性

●以前、敬老パスは全国共通の制度だと思っていました。各都市によって違うと知って、敬老パスのありがた

たみを実感し、札幌への愛着も増しました。制度の継続が難しいのであれば、少なくとも料金負担だけは避けてほしいです。

白石区・中田直子さん(七)

11月号「生活が苦しいため継続を」に賛成

●七十歳以上になると、現金収入が減り、毎日が儉約に努める生活です。今は健康のため、毎日敬老パスを利用して老人福祉センターに通い楽しく過ごしていますが、パスがなくなると外出できなくなります。このまま現状維持を希望します。

白石区・七十代 女性

見直して存続

516件

11月号「収入に応じた負担を」に賛成

●年間三十五億円にも及ぶ市の負担を考えると一部負担は当然だと思います。十一月号に載っていた横浜市のような所得に応じて負担額が変わる方式を導入すべきです。

厚別区・伊藤勉さん(七)

11月号「居住の制限を設けるべき」に賛成

●七十歳になって札幌に転居し、すぐにパスをもらうなんて虫が良過ぎます。せめて二〜三年は住み、税金を納めることが条件ではないでしょ

うか。

東区・六十代 女性

11月号「年齢の引き上げ」に賛成

●一人当たりの利用額が二万二千元と知り驚いています。今後、ますます高齢者が増える時代になりますので、交付する年齢を七十歳から七十五歳に引き上げるなど抜本的に改めるべきです。

西区・七十代 男性

こんな見直しのアイデアも寄せられました

●市全体の収入の何パーセント以内を、この制度のために支出するかを決め、その年の総予算額から一定の敬老パスの予算も決まるようにする。